



団体交渉終了PART② 営業職場の未来のために声を出す! 4月1日からびゅうと駅(加茂、亀田)の体制が変わりました

申8号 駅業務委託のさらなる推進に対する申し入れ

施策の内容

加茂駅と亀田駅を業務委託化し、エルダ一雇用の場の確保と効率的な業務運営体制を構築する。

交渉における特徴点と組合の主張

- 再三に亘る要求により、業務委託駅への出向社員、エルダ一社員に準備時間と更衣時間が付きます。
- 安全のため、駅が列車を停める手段として、業務委託駅にも「一斉停止テコ」があるが、現在は扱わないと指導されている。しかし実際は、扱って列車を停止させることはできるが、本体社員でないと復帰扱いができないということであった。安全のため、しっかり指導し、JNBも躊躇なく扱えるようにすること。
- 業委託駅化、無人駅化による安全・利便性(サービス)・地域密着・地域共存を会社はどう考えているのか。⇒会社として安全・サービスの低下はないとの回答であり認識一致できず。
- 今回の加茂、亀田駅の業務委託化はエルダ一雇用の場の確保が目的の一つであり、常時運転取り扱い等がない駅というのが選定の理由であった。支社内には、同様の駅として、豊栄駅、坂町駅、中条駅、五泉駅などがある。そこは今後の業務委託化の選択肢の一つである。乗降人員数や収入は基本的には加味されない。
- 業務委託駅のポイント不転対応について、現在できる駅は府屋駅、出雲崎駅、津川駅の3駅。試行的にあつみ温泉駅、水原駅、柿崎駅、分水駅、燕駅を机上教育し、降雪時に現地教育ができれば本施行としたい。この8駅以外への拡大は現在考えていない。

施策実施後もしっかり検証し声を出そう!